

令和6年度「富山県総合防災訓練」に参加

令和6年度富山県総合防災訓練が、9月28日（土）と29日（日）の2日間、魚津断層帯を震源とする、マグニチュード7.3の地震が起きたとの想定で実施されました。

地域住民や行政、消防、警察、自衛隊、防災関係団体など合わせて116機関12,000人が参加して開催され、当協会では、富山県との災害時協定に基づき、トナミ運輸(株)、日本通運(株)、佐川急便(株)の協力をいただき、緊急物資輸送隊として訓練に参加しました。

隊員13名、2トナリ車3台、先導者3台が延べ2日間にわたり輸送しました。28日は、県庁危機管理センターから伏木富山港までの輸送訓練と、伏木富山港で、海上自衛隊掃海艇「あいしま」への積込訓練。29日は県庁危機管理センターから入善の避難所までと入善漁港から黒部市の避難所までの積込、輸送、荷下ろしの各訓練を行い、たくさんの参加者の応援をいただきました。また、能登豪雨への対応で港湾業務艇「なごかぜ」がキャンセルとなり、また、当日は海上での波が高く海上保安庁巡視艇「たちかぜ」と、富山県警察警備艇「ありそ」もキャンセルとなり急遽ゴムボートでの海上輸送対応に変更となりましたが、無事訓練は終了しました。

